

高等学校 令和 7 年度 (1 学年用)

教科：国語

科目：現代の国語

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年

教科担当者：(1組：片桐) (2組：片桐) (3組：片桐) (4組：本間) (5組：本間) (6組：本間) (7組：本間)

使用教科書：新編現代の国語 (東京書籍)

教科の目標：言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。

【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたる国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

No.	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時間
1 学 期	1 単元名 自己を見つめる						
	【知識及び技能】 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。	【使用教材】 個人端末、プリント	【知識及び技能】 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使おうとしている				
	【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握できる。	【指導項目・内容】 こそめスープ	【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握しようとしている。	○	○	○	8
	【学びに向かう力、人間性等】 進んで筆者の気持ちの変化や考えを理解し、学習課題に沿って自分の考えをまとめ、話し合える。		【学びに向かう力、人間性等】 進んで筆者の気持ちの変化や考えを理解し、学習課題に沿って自分の考えをまとめ、話し合おうとしている。				
1 学 期	2 単元名 他者に出会う						
	【知識及び技能】 文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解できる。	【使用教材】 個人端末、プリント	【知識及び技能】 文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解しようとしている。				
	【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めることができる。	【指導項目・内容】 未来をつくる想像力	【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めようとしている。	○	○	○	8
	【学びに向かう力、人間性等】 積極的にさまざまな課題に興味や関心を持ち、選んだテーマに関連する情報を集め、学習の見通しをもって情報の妥当性を吟味しながら、自分の意見を明確にし、意見文を書く活動ができる。		【学びに向かう力、人間性等】 積極的にさまざまな課題に興味や関心を持ち、選んだテーマに関連する情報を集め、学習の見通しをもって情報の妥当性を吟味しながら、自分の意見を明確にし、意見文を書く活動しようとしている。				
2 学 期	1 単元名 言葉と生活 1						
	【知識及び技能】 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができる。	【使用教材】 個人端末、プリント	【知識及び技能】 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使おうとしている。				
	【思考力、判断力、表現力等】 「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫できる。	【指導項目・内容】 水の東西	【思考力、判断力、表現力等】 「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫しようとしている。	○	○	○	8
	【学びに向かう力、人間性等】 積極的に分かりやすさ、適切さに配慮した表現を理解し、学習課題に沿って相手の反応を予想して、話の構成や展開を工夫して話そうとしている。		【学びに向かう力、人間性等】 積極的に分かりやすさ、適切さに配慮した表現を理解し、学習課題に沿って相手の反応を予想して、話の構成や展開を工夫して話そうとしている。				
2 学 期	2 単元名 視野を広げる						
	【知識及び技能】 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解できる。	【使用教材】 個人端末、プリント	【知識及び技能】 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解しようとしている。				
	【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めることができる。	【指導項目・内容】 鍋洗いの日々	【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めようとしている。	○	○	○	10
	【学びに向かう力、人間性等】 積極的に「企画会議」の進め方に沿って論点を共有し、学習の見通しをもって提案内容を整理しながら、話し合いの仕方や結論の出し方を工夫できる。		【学びに向かう力、人間性等】 積極的に「企画会議」の進め方に沿って論点を共有し、学習の見通しをもって提案内容を整理しながら、話し合いの仕方や結論の出し方を工夫しようとしている。				

高等学校 令和 7 年度 (1 学年用)

教科 : 国語

科目 : 現代の国語

単位数 : 2 単位

対象学年組 : 第 1 学年

教科担当者 : (1 組:片桐) (2 組:片桐) (3 組:片桐) (4 組:本間) (5 組:本間) (6 組:本間) (7 組:本間)

使用教科書 : 新編現代の国語 (東京書籍)

教科の目標 : 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。

【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目の目標 :

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時間
1 単元名 社会と関わる						
【知識及び技能】 実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めることができる。	【使用教材】 個人端末、プリント	【知識及び技能】 実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めようとしている。				
【思考力、判断力、表現力等】 「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫できる。	【指導項目・内容】 美しさの発見	【思考力、判断力、表現力等】 「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫しようとしている。	○	○	○	8
【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く筆者の自然と融合した生き方に対する思いを理解し、学習課題に沿って自然や社会での仕事や生活について自分の考えを深め、発表できる。		【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く筆者の自然と融合した生き方に対する思いを理解し、学習課題に沿って自然や社会での仕事や生活について自分の考えを深め、発表しようとしている。				
2 単元名 言葉と生活 2						
【知識及び技能】 個別の情報と一般化された情報との関係について理解できる。	【使用教材】 個人端末、プリント	【知識及び技能】 個別の情報と一般化された情報との関係について理解しようとしている。				
【思考力、判断力、表現力等】 「話すこと・聞くこと」において、論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話し合いの仕方や結論の出し方を工夫できる。	【指導項目・内容】 真の自立とは	【思考力、判断力、表現力等】 「話すこと・聞くこと」において、論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話し合いの仕方や結論の出し方を工夫しようとしている。	○	○	○	10
【学びに向かう力、人間性等】 進んで話し合いの題材を考え、学習課題に沿って発想を広げる話し合いをしながら自分の考えを広げ、場に応じた言葉遣いをするすることができる。		【学びに向かう力、人間性等】 進んで話し合いの題材を考え、学習課題に沿って発想を広げる話し合いをしながら自分の考えを広げ、場に応じた言葉遣いをするようとしている。				
3 単元名 世界とつながる						
【知識及び技能】 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにできる。	【使用教材】 個人端末、プリント	【知識及び技能】 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。				
【思考力、判断力、表現力等】 「書くこと」において、目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直すことができる。	【指導項目・内容】 真の自立とは	【思考力、判断力、表現力等】 「書くこと」において、目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直すようとしている。	○	○	○	8
【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く取り上げられた具体例の展開に注目しながら、筆者の「美しさの発見」についての価値観や主張を理解し、今までの学習を生かして「美しさ」を知るために必要な感受性の養い方について自分の考えを深め、話し合おうとしている。		【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く取り上げられた具体例の展開に注目しながら、筆者の「美しさの発見」についての価値観や主張を理解し、今までの学習を生かして「美しさ」を知るために必要な感受性の養い方について自分の考えを深め、話し合おうとしている。				
4 単元名 未来に目を向ける						
【知識及び技能】 推論の仕方を理解できる。	【使用教材】 個人端末、プリント	【知識及び技能】 推論の仕方を理解しようとしている。				
【思考力、判断力、表現力等】 「話すこと・聞くこと」において、論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりすることができる。	【指導項目・内容】 真の自立とは	【思考力、判断力、表現力等】 「話すこと・聞くこと」において、論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。	○	○	○	10
【学びに向かう力、人間性等】 積極的に現代の状況に関心を持ち、筆者が述べる内容を理解し、自分の考えを深め、今までの学習を生かして「自立」という観点から他者と話し合いをしたうえで、自分の考えをまとめることができる。		【学びに向かう力、人間性等】 積極的に現代の状況に関心を持ち、筆者が述べる内容を理解し、自分の考えを深め、今までの学習を生かして「自立」という観点から他者と話し合いをしたうえで、自分の考えをまとめるようとしている。				